

# 集中!



## 一般会計補正予算

追加提案で4,035万円 ◎全会一致で可決

### 『日高橋書店』を解体撤去

燕地区の宮町商店街にある「日高橋書店」の建物は、老朽化が激しく、以前より付近住民から市に苦情が寄せられていましたが、ことしに入ってから屋根材や外壁材が落下するようになりました。前の道路が商店街に面し、通学路に指定されており、市はこれまでも「空き家条例」に基づき助言指導・勧告・緊急安全措置等の対策を進めてきました。

こうした中、地元宮町の自治会から11月に危険防止対策を求める要望書が提出され、建物内部を調べたところ、すでに一部が崩落している箇所もあるなど、非常に危険な状況であることが分かり、緊急に対応することにしました。

#### 主な意見

- 行政代執行によらず、所有者などに解体費用の負担を求めない手法で公平性が保たれるのか。
- 今回の事例が前例となることも懸念し、「きちんとしたルールが必要ではないか」等、多数の意見が出されました。



- ① 11月7日 店舗裏の屋根材(コンクリート)が下の駐車場に落下した。
- ② 12月2日 住宅の外装材(トタン材)が剥離し、隣家側へ落下した。
- ③ 清算人の許可を得て、店舗内部の状況を確認したところ、天井が崩落し、天井材が室内に散乱している。

議長

中島清一



### 年頭のご挨拶

明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、平成27年の初春を健やかに迎え、ことと、心よりお慶び申し上げます。

旧年中に市議会に対して賜りました格別のご理解とご協力に、厚く御礼申し上げます。

さて、平成26年を振り返りますと、燕・弥彦地域定住自立圏の形成、好評をいただいているふるさと納税をはじめ、病児・病後児保育施設、西部学校給食センター、新分水消防署等の公共施設が次々誕生するなど、明るい

話題が多い一年だったのでないでしょうか。

燕市議会も、市政におけるさまざまな課題の解決に向け、市民の皆様のご意見を幅広く取り入れながら、「言論の府」としての議会制民主主義の信頼をより高めるため、議員一丸となつて、議会活性化の改革に取り組んでまい

る所存でございます。

結びに、本年も皆様にとりまして幸せで実り多く、大いなる飛躍の年となりますことを心からお祈りし、新年のご挨拶いたします。

